

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO **iDWR**

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2012年第14週
(4月2日～4月8日)

* 2012年4月11日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>

* 今週は感染症豆知識「麻疹」も記載しています。

平成24(2012)年4月12日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2012年14週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		11週	12週	13週	14週		14週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	101	56	85	47	1,080	272	7,021
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
三類	コレラ							1
	細菌性赤痢	5	1	2		22	3	75
	腸管出血性大腸菌感染症		1		2	10	28	187
	腸チフス			1		4	1	9
	パラチフス				1	3	1	5
四類	E型肝炎		1		1	7	2	42
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	2	1	1		5	3	38
	エキノкокクス症							3
	黄熱							
	オウム病							1
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							1
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱							
	つつが虫病					1		61
	デング熱	3				10	3	41
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)							
	ニバウイルス感染症							
	日本紅斑熱							
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							2
	マラリア	1		2		4		12
野兎病								
ライム病								
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	2			2	13	9	165	
レプトスピラ症					1		1	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		11週	12週	13週	14週	年累計	14週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	3	6	1	2	48	7	214
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	1	2	1	1	14	1	47
	急性脳炎 *2				1	14	6	156
	クリプトスポリジウム症					1		4
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	1			4		46
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	1	1	7	4	82
	後天性免疫不全症候群	5	8	8	6	112	13	338
	ジアルジア症	1				3		10
	髄膜炎菌性髄膜炎							4
	先天性風しん症候群							
	梅毒	3	8		6	72	6	198
	破傷風			1		1		18
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1				4		22
	風しん			2		17	6	114
麻しん		2	2	1	17	6	98	
2012/4/11集計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 47件 肺結核 20件、その他の結核 6件、肺結核及びその他の結核 2件、無症状病原体保有者 18件、疑似症 1件、年齢は10歳未満 2件(うち5歳未満 1件)、10代 2件、20代 7件、30代 3件、40代 4件、50代 5件、60代 10件、70代 8件、80代 6件、推定感染地は国内 47件(東京都 15件、神奈川県 1件、不明 31件)であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 2件 患者 1件、無症状病原体保有者 1件、血清型・毒素型はO157 VT1 1件、O157 VT2 1件、年齢は10代 1件、40代 1件、推定感染地は国内 1件(不明)、インドネシア 1件、推定感染経路は経口感染 1件、その他(不明) 1件であった。

パラチフス 1件 患者、年齢は30代、推定感染地はインド、推定感染経路は経口感染であった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 1件 患者、年齢は40代、推定感染地は国内、推定感染経路は経口感染(豚肉)であった。

レジオネラ症 2件 肺炎型 2件、年齢は70代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は水系感染 1件、その他(不明) 1件であった。70代の1件は死亡が確認されている。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 2件 腸管 1件、腸管外 1件、年齢は50代 2件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は性的接触 1件(性別不明)、その他(不明) 1件であった。

ウイルス性肝炎 1件 B型、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)であった。

急性脳炎 1件 病原体はロタウイルス、年齢は5歳未満、推定感染地は国内、推定感染経路は接触感染であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 A群、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路は創傷感染(左足部)であった。届出時に死亡が確認された。

後天性免疫不全症候群 6件 AIDS 1件、無症候キャリア 5件、AIDS患者の年齢は50代、無症候キャリアの年齢は20代 1件、30代 4件、推定感染地は国内 6件、推定感染経路は性的接触(同性間) 6件であった。

梅毒 6件 早期顕症梅毒Ⅰ期 1件、早期顕症梅毒Ⅱ期 4件、無症候梅毒 1件、年齢は20代 3件、30代 3件、推定感染地は国内 6件、推定感染経路は性的接触 6件(同性間 4件、異性間 1件、性別不明 1件)であった。

麻しん 1件 臨床診断例、年齢は30代、推定感染地は中国、推定感染経路はその他(不明)、麻しん含有ワクチン接種歴は1回接種ありであった。

定点把握対象疾患 報告数 2012年14週

定点種別	対象疾患	2012年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		11週	12週	13週	14週	定点当たり		
小児科	RSウイルス感染症	45	31	26	34	0.13	261	264
	咽頭結膜熱	49	59	31	28	0.11		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	525	386	365	325	1.25		
	感染性胃腸炎	2,148	2,020	2,171	2,311	8.85		
	水痘	281	351	256	246	0.94		
	手足口病	2	9	13	2	0.01		
	伝染性紅斑	36	28	33	34	0.13		
	突発性発しん	121	105	160	127	0.49		
	百日咳	5	4	2	10	0.04		
	ヘルパンギーナ	2	3	1	4	0.02		
	流行性耳下腺炎	40	44	46	49	0.19		
	川崎病(注1)	8	3	1	1	0.004		
	不明発しん症(注1)	12	14	19	18	0.07		
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	6,641	4,952	3,414	1,881	4.54	414	419
眼科	急性出血性結膜炎						38	39
	流行性角結膜炎	14	10	16	9	0.24		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)	1		1			25	25
	無菌性髄膜炎		3	2				
	マイコプラズマ肺炎	14	15	14	10	0.40		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)							
	インフルエンザ入院(注4)	18	17	19	8	0.32		

2012/4/11集計

- (注1) 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。
 (注2) 鳥インフルエンザを除く。
 (注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。
 (注4) 2011年36週より開始

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ **インフルエンザ**の定点当たり報告数は9週連続して減少し、4.54となった。
- ・ **インフルエンザ入院**の定点当たり報告数も減少し、0.32となった。

(小児科・内科定点医療機関からのコメント)

墨田区

- ・ 感染性胃腸炎9名中、ロタウイルス 2名。アデノウイルス 1名。
- ・ 感染性胃腸炎8名中、ロタウイルス 5名。
- ・ 近隣保育園での胃腸炎の流行があり、患者が多くなった。

大田区

- ・ もう夏カゼと思われる「ヘルパンギーナ」もカウントしています。
- ・ ロタウイルス感染症の患者が多い。

世田谷区

- ・ 感染性胃腸炎15名中、ロタウイルス 1名(7歳児)。 ・ 百日咳 2ヶ月児 1名。

荒川区

- ・ 感染性胃腸炎21名中、ロタウイルス 5名、アデノウイルス 1名。
- ・ 感染性胃腸炎15名中、病原性大腸菌O1 1名。

町田市

- ・ ヘルパンギーナは野球の全国大会で岡山へ行き、戻った日に発熱。

南多摩

- ・ 感染性胃腸炎が多い。

多摩小平

- ・ 感染性胃腸炎12名中、ロタウイルス 4名。
- ・ 感染性胃腸炎23名中、ロタウイルス 13名、病原性大腸菌 10名。

※ インフルエンザの迅速診断結果及びコメントは13頁にまとめて記載しました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2012年14週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～6か月	10			25	5			4	1	
～1歳	7	4	1	223	14			60	2	1
1歳	14	6	11	495	27		3	51	2	1
2歳	1	4	28	267	40	1	1	9		
3歳	1	4	29	245	55	1	4	1		
4歳	1	1	44	192	34		4		1	1
5歳		3	57	148	24		7			
6歳		2	31	135	14		5			
7歳		3	23	94	10		3			
8歳			22	69	5		2			
9歳			18	50	7		2			
10～14歳		1	34	122	6		3		1	1
15～19歳			2	29						
20～29歳			25	217	5			2	3	
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	34	28	325	2,311	246	2	34	127	10	4
先週比	8	-3	-40	140	-10	-11	1	-33	8	3

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～6か月				5		
～1歳			2	31		
1歳	4		4	92		
2歳	6	1	2	111		
3歳	6		1	165		
4歳	9		3	157		
5歳	9		1	144		
6歳	4		1	148		
7歳	5			91		
8歳	1			76		
9歳	3		1	41		
10～14歳	2		2	170		
15～19歳				84		
20～29歳			1	150		
30～39歳				183		3
40～49歳				139		1
50～59歳				43		2
60～69歳				38		3
70～79歳				9		
80歳以上				4		
合計	49	1	18	1,881		9
先週比	3		-1	-1,533		-7

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2012年14週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		
20～29歳		
30～39歳		1
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計		1

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2012年14週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田			2	3	2			3		
中央区			3	5	3		1	1		
みなと	2	1	3	51	13		2	5		1
新宿区	3		12	24	1		1	2		
文京			5	19	2			2		
台東			4	37	3			3		
墨田区			14	33	5		2	1		
江東区	4		9	127	10		4	6		
品川区	1	1	5	76	8			5		
目黒区			3	37				3		
大田区	4	5	29	215	11			5	1	1
世田谷		1	35	169	12		2	5	1	1
渋谷区				27	3					
中野区			3	51	8			1		
杉並	2		10	66	7			2		
池袋	1			7				1		
北区			1	36	1			7		
荒川区			2	50	9		2	6	1	
板橋区		1	4	46	9		1	2		
練馬区		2	11	85	7			2		
足立		2	13	99	13		1	8	2	
葛飾区		1	5	86	13			1		
江戸川	1	2	19	107	9		1	10		
八王子市	3		22	160	19		2	9		
町田市			20	86	6		1	2		1
西多摩		3	6	41	4		3		2	
南多摩	3		9	75	16		3	9		
多摩立川	5		24	130	6	1		6		
多摩府中		2	29	193	10	1	6	10	3	
多摩小平	5	7	22	170	36		2	9		
島しょ			1					1		
東京都合計	34	28	325	2,311	246	2	34	127	10	4

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2012年14週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				10		
中央区	2			18		
みなと				58		
新宿区	1		1	36		
文京				11		3
台東	1			18		
墨田区				30		
江東区			2	71		1
品川区	1			40		
目黒区				11		1
大田区	7		4	78		
世田谷			2	117		
渋谷区				24		
中野区	1			49		
杉並	1			86		
池袋				14		1
北区	1			30		
荒川区			1	49		
板橋区	1			41		
練馬区	2		1	64		
足立	3			77		
葛飾区	4			73		
江戸川	4			74		1
八王子市	5	1	1	159		
町田市	3		2	76		
西多摩				60		1
南多摩	5			95		
多摩立川	3		2	94		
多摩府中	1		1	144		
多摩小平	3		1	166		1
島しょ				8		

東京都合計	49	1	18	1,881		9
-------	----	---	----	-------	--	---

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		1
文京		
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市		
町田市		
西多摩		
南多摩		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計		1
-------	--	---

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2012年14週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田			0.67	1.00	0.67			1.00		
中央区			1.00	1.67	1.00		0.33	0.33		
みなと	0.33	0.17	0.50	8.50	2.17		0.33	0.83		0.17
新宿区	0.38		1.50	3.00	0.13		0.13	0.25		
文京			1.25	4.75	0.50			0.50		
台東			1.00	9.25	0.75			0.75		
墨田区			2.80	6.60	1.00		0.40	0.20		
江東区	0.44		1.00	14.11	1.11		0.44	0.67		
品川区	0.13	0.13	0.63	9.50	1.00			0.63		
目黒区			0.60	7.40				0.60		
大田区	0.31	0.38	2.23	16.54	0.85			0.38	0.08	0.08
世田谷		0.06	2.19	10.56	0.75		0.13	0.31	0.06	0.06
渋谷区				6.75	0.75					
中野区			0.43	7.29	1.14			0.14		
杉並	0.20		1.00	6.60	0.70			0.20		
池袋	0.25			1.75				0.25		
北区			0.14	5.14	0.14			1.00		
荒川区			0.50	12.50	2.25		0.50	1.50	0.25	
板橋区		0.10	0.40	4.60	0.90		0.10	0.20		
練馬区		0.15	0.85	6.54	0.54			0.15		
足立		0.15	1.00	7.62	1.00		0.08	0.62	0.15	
葛飾区		0.13	0.63	10.75	1.63			0.13		
江戸川	0.08	0.17	1.58	8.92	0.75		0.08	0.83		
八王子市	0.27		2.00	14.55	1.73		0.18	0.82		
町田市			2.50	10.75	0.75		0.13	0.25		0.13
西多摩		0.38	0.75	5.13	0.50		0.38		0.25	
南多摩	0.33		1.00	8.33	1.78		0.33	1.00		
多摩立川	0.36		1.71	9.29	0.43	0.07		0.43		
多摩府中		0.11	1.53	10.16	0.53	0.05	0.32	0.53	0.16	
多摩小平	0.33	0.47	1.47	11.33	2.40		0.13	0.60		
島しょ			1.00					1.00		

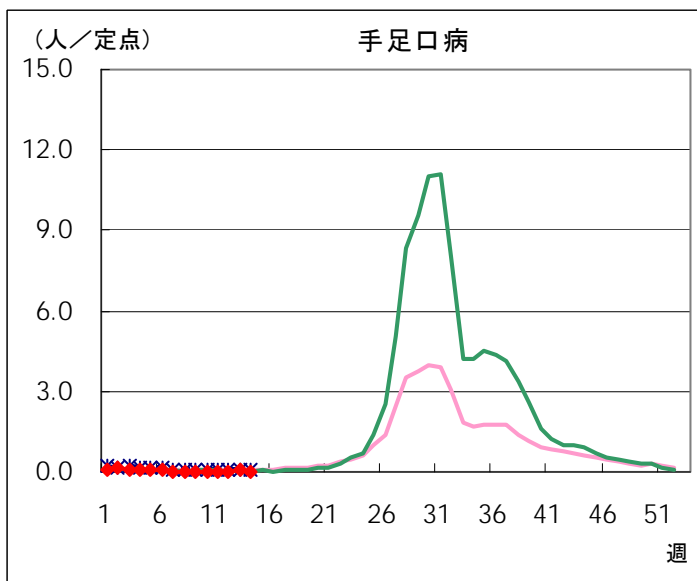
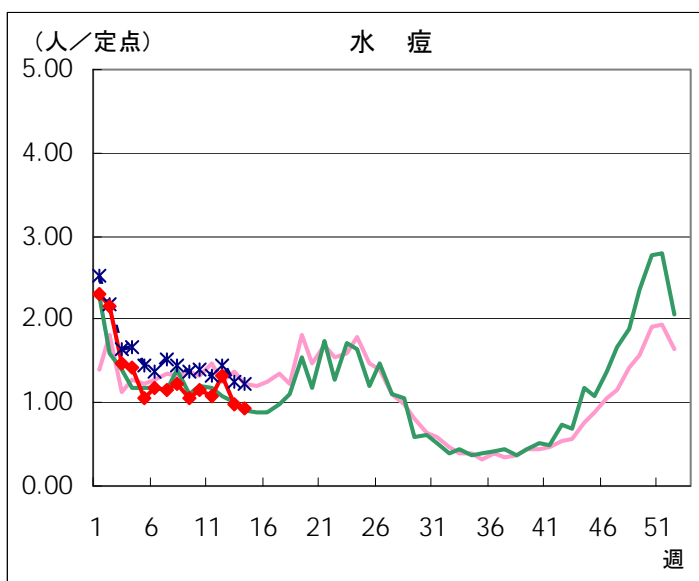
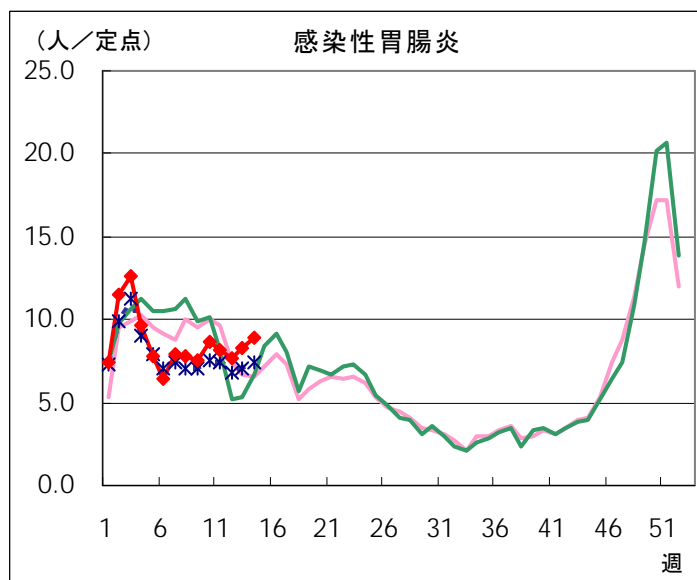
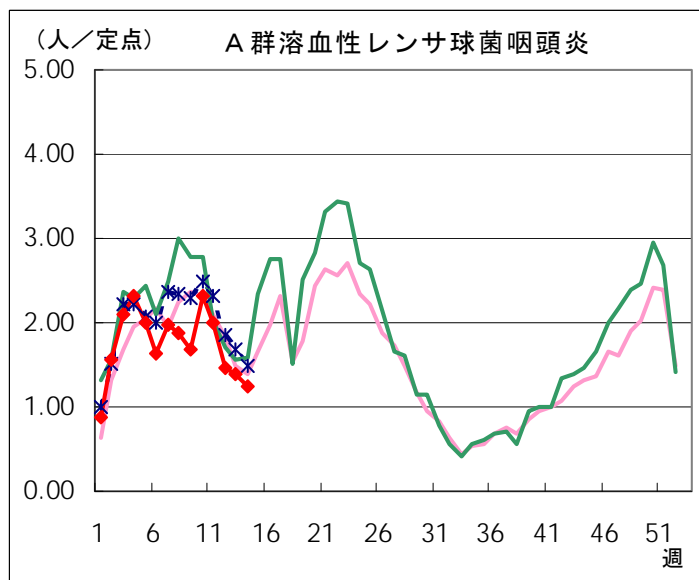
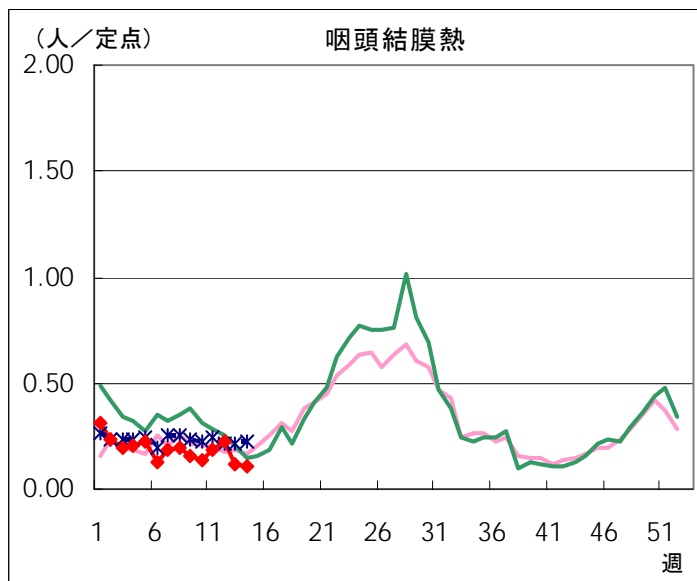
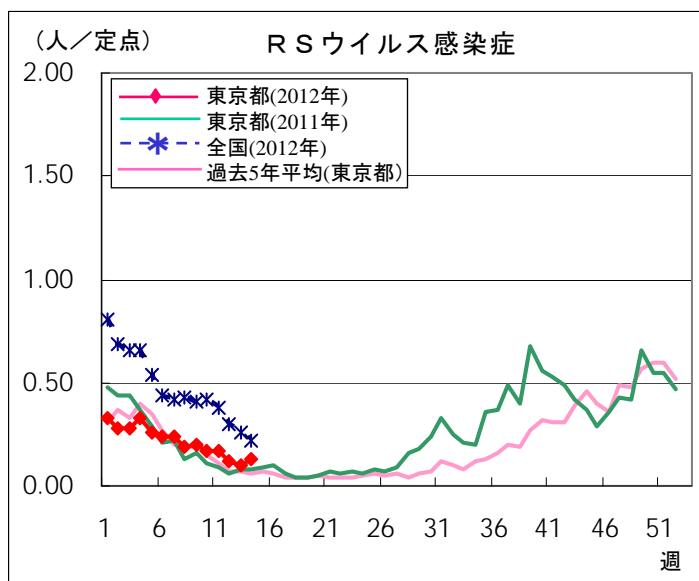
東京都	0.13	0.11	1.25	8.85	0.94	0.01	0.13	0.49	0.04	0.02
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

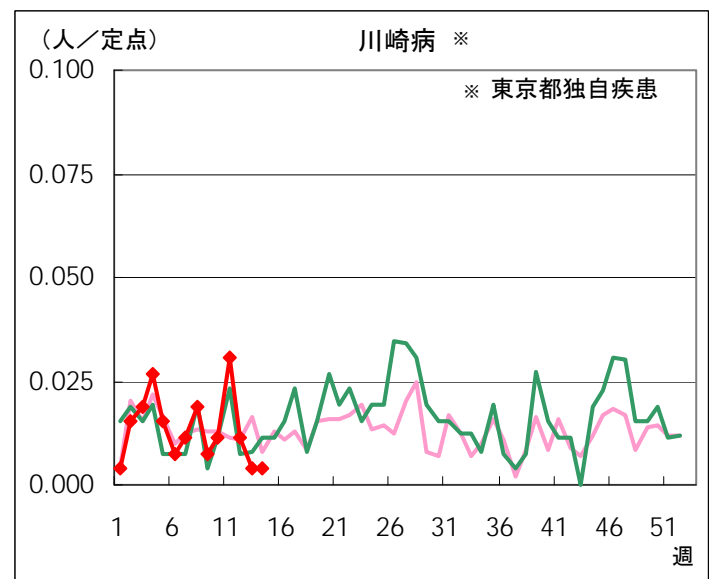
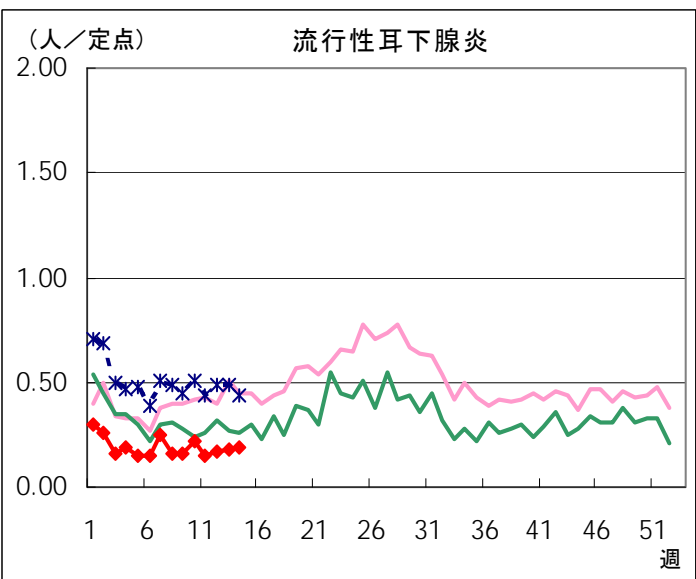
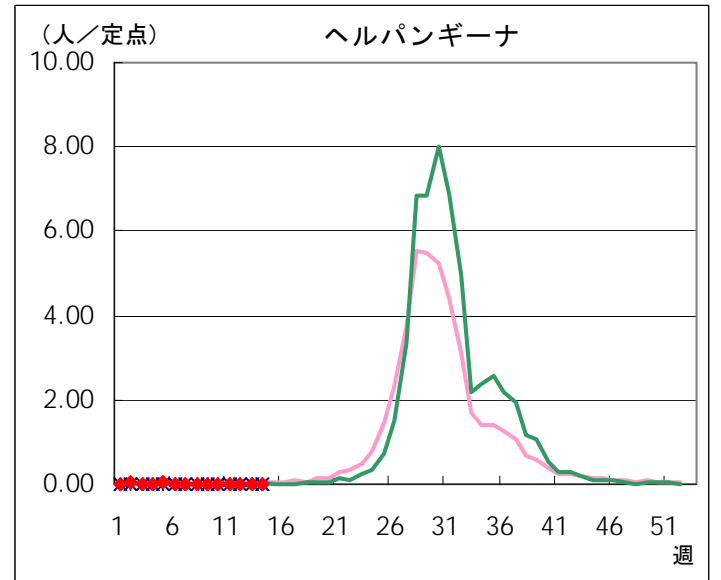
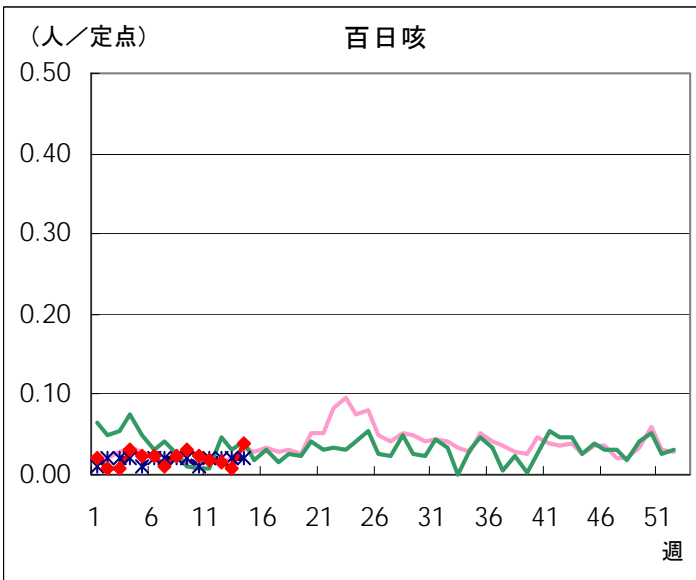
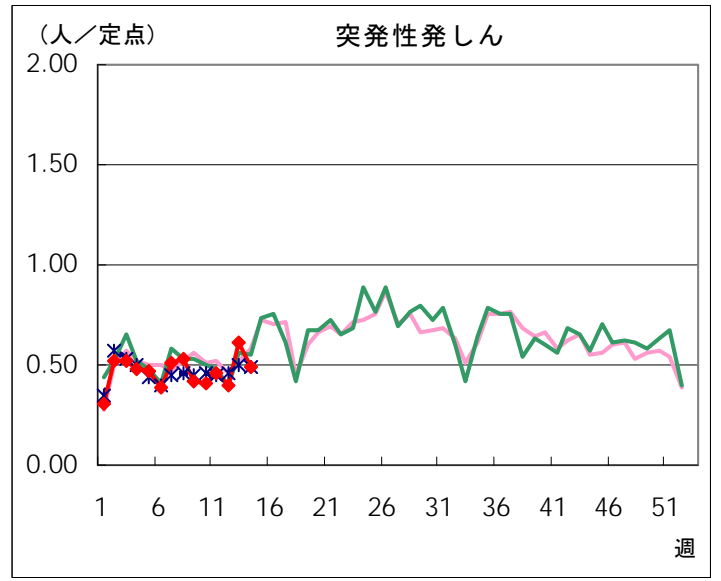
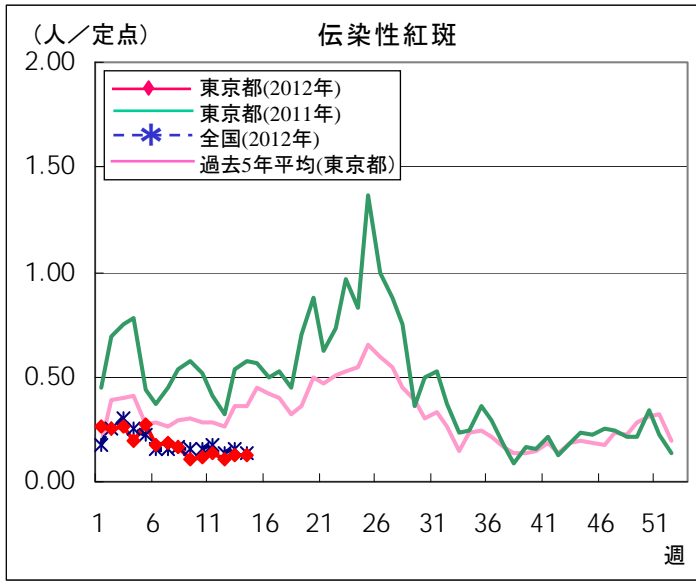
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				2.50		
中央区	0.67			3.60		
みなと				6.44		
新宿区	0.13		0.13	3.00		
文京				1.57		3.00
台東	0.25			2.57		
墨田区				3.75		
江東区			0.22	5.07		1.00
品川区	0.13			3.64		
目黒区				1.38		1.00
大田区	0.54		0.31	3.71		
世田谷			0.13	4.68		
渋谷区				3.43		
中野区	0.14			4.45		
杉並	0.10			5.38		
池袋				2.00		1.00
北区	0.14			2.73		
荒川区			0.25	7.00		
板橋区	0.10			2.56		
練馬区	0.15		0.08	3.05		
足立	0.23			3.85		
葛飾区	0.50			5.62		
江戸川	0.33			3.89		0.50
八王子市	0.45	0.09	0.09	8.83		
町田市	0.38		0.25	5.85		
西多摩				4.29		1.00
南多摩	0.56			6.79		
多摩立川	0.21		0.14	4.48		
多摩府中	0.05		0.05	4.80		
多摩小平	0.20		0.07	7.22		0.50
島しょ				4.00		

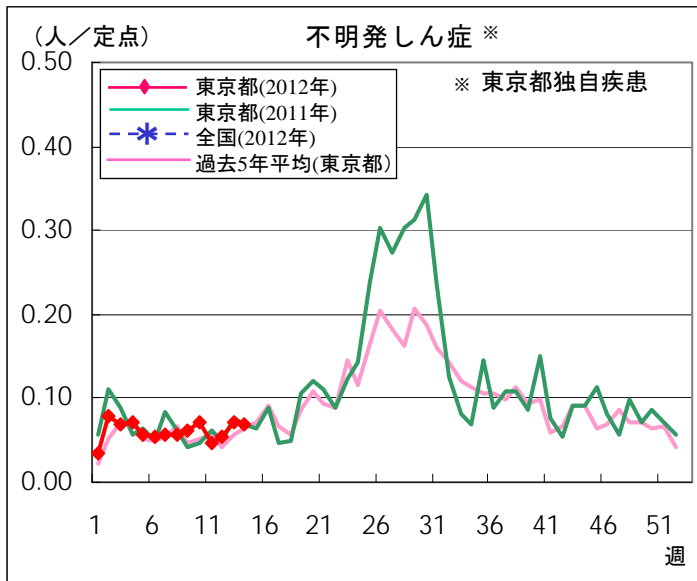
東京都	0.19	0.004	0.07	4.54		0.24
-----	------	-------	------	------	--	------

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2012年14週現在

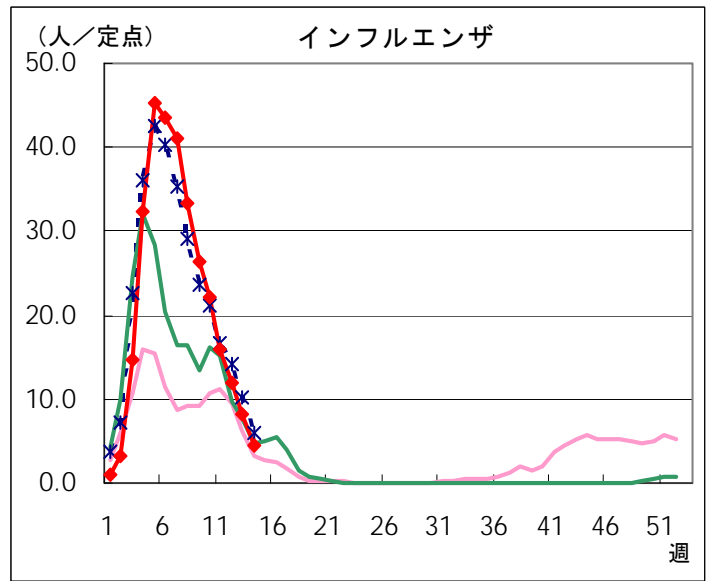
◆ 小児科定点



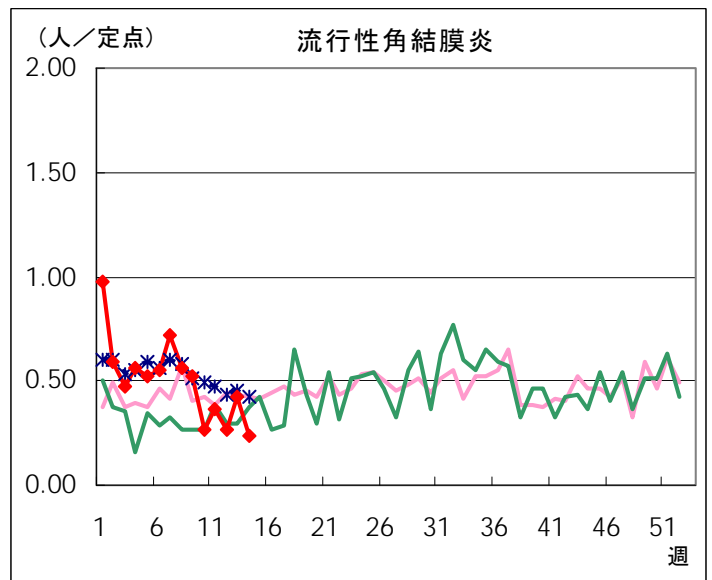
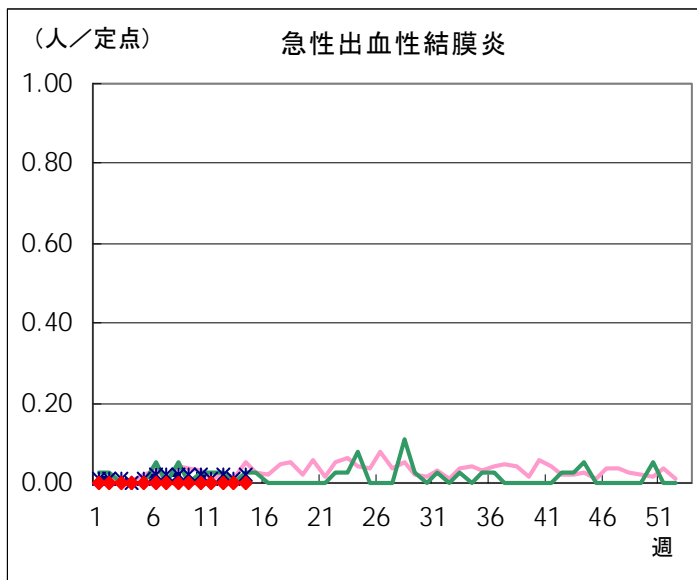




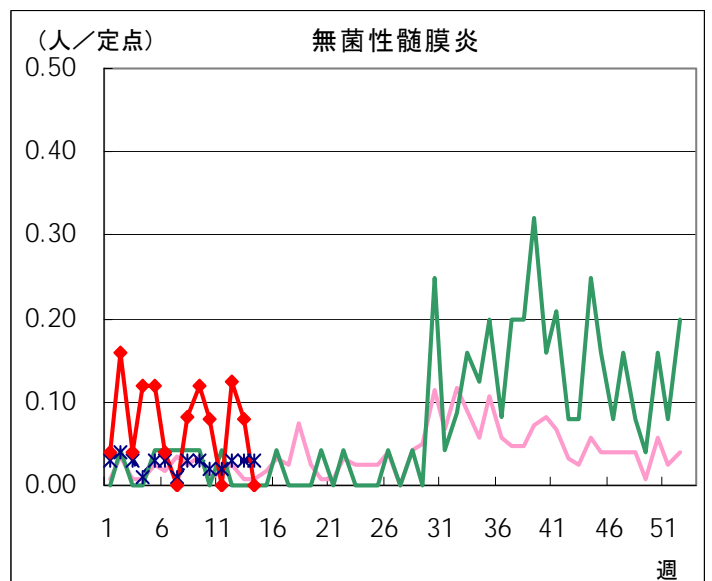
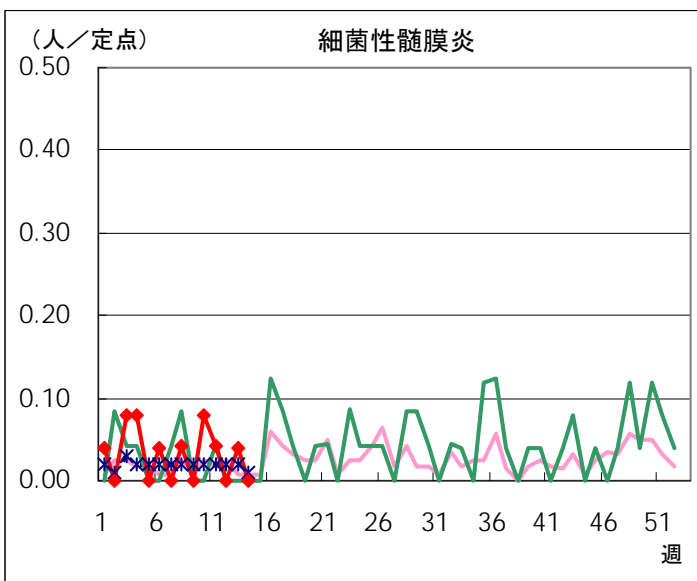
◆ インフルエンザ定点

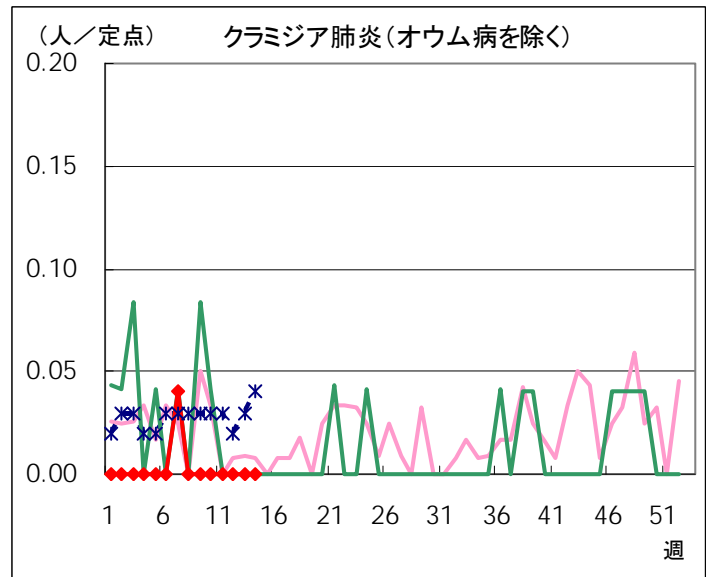
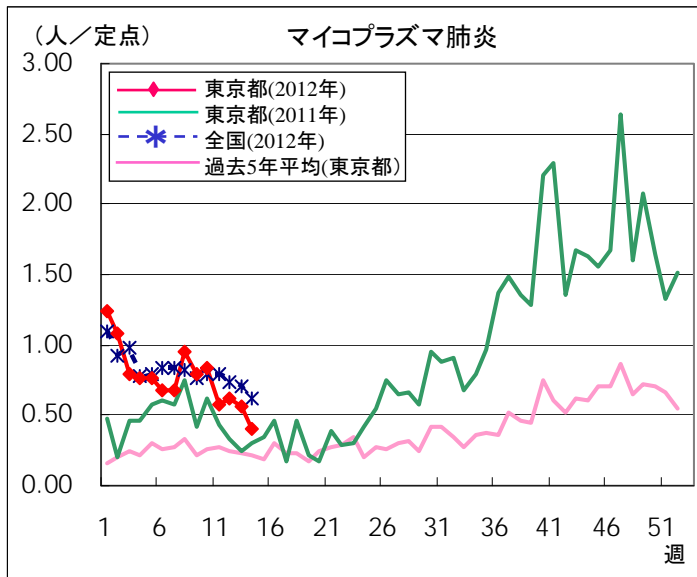


◆ 眼科定点

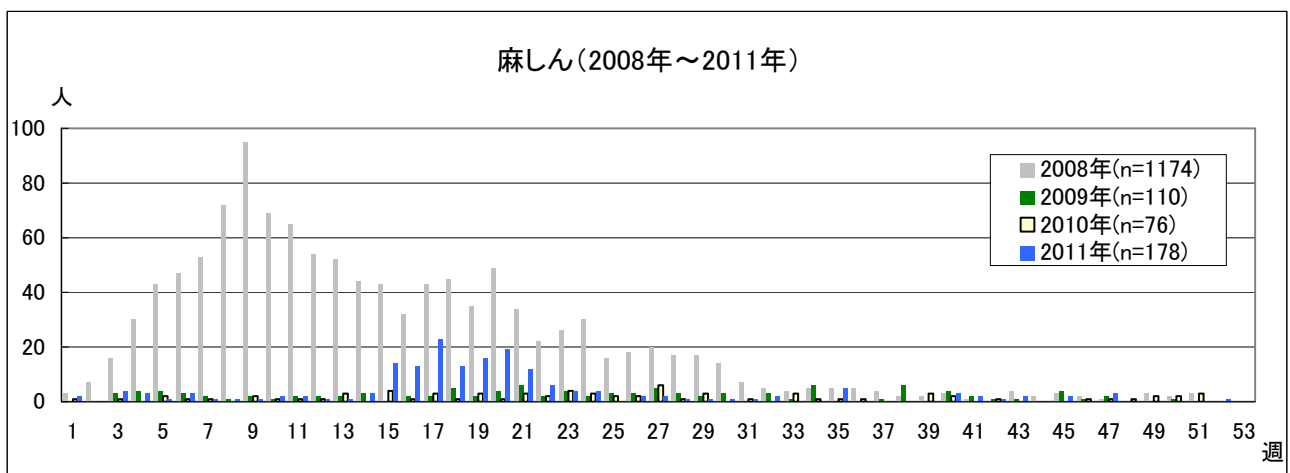
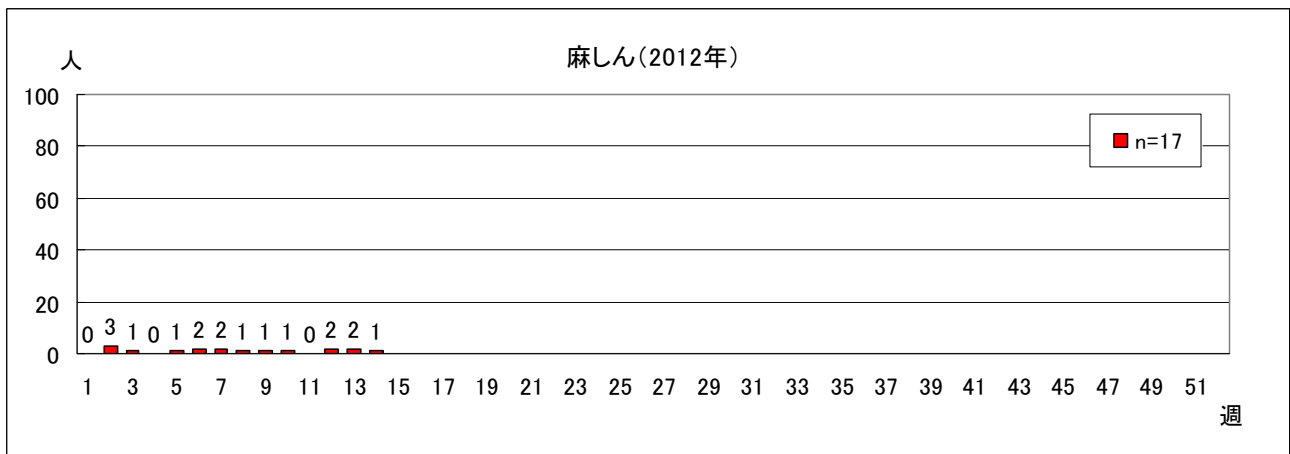


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2012年14週現在



定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
3/24	上気道炎、肺血症	2M	咽頭拭い液	ライノウイルス	遺伝子
3/29	急性気管支炎	9M	咽頭拭い液	RSウイルス	
3/27	気管支炎	1	鼻汁	ライノウイルス メタニューモウイルス	
3/27	高熱(インフルエンザ)	1	鼻汁	ヒトヘルペスウイルス 6型	
3/26	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	
3/27	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	
3/28	川崎病	1	咽頭拭い液	サイトメガロウイルス	
3/29	急性気管支炎	2	咽頭拭い液	メタニューモウイルス	
3/23	感染性胃腸炎	2	糞便	A群ロタウイルス	抗原
3/26	急性胃腸炎	31	直腸拭い液	ノロウイルスG II	遺伝子
3/26	急性胃腸炎	45	直腸拭い液	ノロウイルスG II	
3/24	急性胃腸炎	69	直腸拭い液	ノロウイルスG II	

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

検出件数	インフルエンザウイルス			
	AH1pdm09*型	AH1型	AH3型	B型
13週				3
2011-2012年 シーズン累計**	1		203	105

* 2011年4月1日から新型インフルエンザ(AH1N1pdm)が季節性インフルエンザに移行されたため、表記を AH1pdm09 とします。

** 2011-2012シーズンの開始は第36週(2011年9月5日～)

◇定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関からいただきました、インフルエンザ迅速診断結果とコメントを下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果			医療* 機関数	備 考
	A型	B型	記載なし		
千代田		2		1	
新宿区	2	1	1	3	・患者2名のうち、H1N12009が1名。
墨田区	2	12		4	
江東区	10	54	2	10	
品川区	2	12		5	
目黒区	1	6		2	
大田区	5	15		7	・まだ4名ほど、インフルエンザの患者さんがいました。
世田谷	8	33		9	・A型2歳児1名、春休み、関西に帰省中に発熱。 ・毎年の春の状況になっています。
渋谷区		10		2	
中野区	6	43		11	
池袋	1	7		2	
北区	4	20		6	
荒川区	6	24		3	
練馬区	2	12		4	
町田市	3	7		3	
南多摩	8	73	1	9	・患者6名中の1名はA型。
多摩立川	1	32	3	6	
多摩府中	3	14	2	4	
多摩小平	2	70	1	11	
島しょ	1	7		1	
合 計	67	454	10	103	

* 迅速診断結果をご報告いただいた医療機関数

病原体検査情報 【検出病原体別・週別】

検出病原体		2012年							
		6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週
ウイルス	アデノウイルス	1	3	3	4	8	3	1	
	ライノウイルス		1	2	2	1		2	2
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス								
	単純ヘルペスウイルス								
	水痘・帯状疱疹ウイルス	1							
	ヘルペスウイルス6/7	1	2	1	5	1	5		3
	EBウイルス	2	2		1	1	1		
	サイトメガロウイルス					1			1
	ムンプスウイルス	1		1					
	麻疹ウイルス								
	風しんウイルス								
	パルボウイルスB19						3		
	RSウイルス			1					1
	ノロウイルス		2	1	5	4	3		3
	ロタウイルス			1		1	2		1
	インフルエンザウイルスAH1								
	インフルエンザウイルスAH3	33	15	12	4	10	5	1	
	インフルエンザウイルスB	12	6	7	9	18	16	10	3
インフルエンザウイルスAH1pdm09									
デングウイルス(抗体を含む)									
その他のウイルス							1	2	
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌								
	百日咳								
	マイコプラズマ								
	その他の細菌								
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2012年6週～2012年13週

臨床診断名 検出病原体		インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数		176	21	20	40	10	2		5		1	2	21	5	1	2		55	
ウイルス	アデノウイルス	9	5		2								3					4	
	ライノウイルス		1	3			1				1		4						
	ポリオウイルス																		
	コクサッキーウイルスA群																		
	コクサッキーウイルスB群																		
	エコーウイルス																		
	エンテロウイルス71																		
	その他のエンテロウイルス																		
	単純ヘルペスウイルス																		
	水痘・帯状疱疹しんウイルス														1				
	ヘルペスウイルス6/7	1		2									6					9	
	EBウイルス		1										1	2				3	
	サイトメガロウイルス																	2	
	ムンプスウイルス						1							1					
	麻疹しんウイルス																		
	風しんウイルス																		
	パルボウイルスB19												1	2					
	RSウイルス			2															
	ノロウイルス					17													1
	ロタウイルス					5													
インフルエンザウイルスAH1																			
インフルエンザウイルスAH3	79	1																	
インフルエンザウイルスB	71	4	3									1						2	
インフルエンザウイルスAH1pdm09																			
デングウイルス(抗体を含む)																			
その他のウイルス			2															1	
細菌	カンピロバクター																		
	サルモネラ																		
	腸管出血性大腸菌																		
	その他の腸管系病原菌																		
	溶血性レンサ球菌																		
	百日咳																		
	マイコプラズマ																		
	その他の細菌																		
その他の病原体																			

<感染症豆知識>

麻 疹

「日本は麻疹の輸出国と言われた時もあったが、今は・・・」

平成 13 年前後、国内の麻疹の年間発生数は 20～30 万人と推計された。麻疹排除に向けて、MR ワクチンによる 1 期 2 期接種の導入、その後の高校大学などでの流行から、加えて 5 年間の時限で 3 期、4 期接種も行われるようになった(3・4 期は平成 24 年度が最終年度)。

当時すでに麻疹を排除 (elimination) あるいはそれに近づいた国へ旅行に行った日本人が海外で麻疹を発症し現地で二次、三次感染を起こしてしまった事例、修学旅行中発症者が出たためグループで緊急ワクチン接種やガンマグロブリンの接種を受け現地に長期間留め置かれた事例などが相次ぎ、「日本は麻疹の輸出国」と冷ややかな目で見られた。

平成 23 年、日本の麻疹年間報告数は 434 例まで減少、臨床診断は麻疹であっても、PCR などによる検査診断では麻疹ウイルス感染ではない発疹症であったという例のあることも明らかになってきている。麻疹は臨床診断で間違えるわけがない、とかつて私も思っていたが、丁寧に見ていくと見誤るような例に少なからず遭遇することもある。麻疹ゼロが近づいてくると、やはりウイルス分離、PCR 診断による確診診断が必須になってくる。ウイルスが検知されればその遺伝子型を見ることによって世界のどこで流行しているウイルスかの鑑別ができる。国内報告例のうちウイルスが明らかになった中では、それまで日本で流行していた D5 型は 2010 年 5 月以来見つからなくなっている。代わってヨーロッパの D4、アジアの D9、D8 が見つかっている。

日本は麻疹の輸出国から輸入国に転じた。国内の麻疹はほぼ駆逐されつつあると言ってもよいが、麻疹に対して免疫のない (ワクチン未接種・不十分) 人の間で小流行が続けば、それらは新たな日本の土着ウイルスになってしまう。

麻疹 elimination まではもう一歩である。しかし麻疹対策は手を緩めてはならない。

(文責 国立感染症研究所感染症情報センター 岡部信彦)